

2023年度 大阪公立大学大学院医学研究科 博士課程 専門医養成コース等概要

下記コースを希望する方は、インターネット出願において「志望専攻・講座・専門分野等」の項目を入力際に希望するコース名を入力してください。

多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン 大学院コース

文部科学省採択事業

◆ 小児がんに対応できる医療人材の養成コース

小児がんは頻度が少なく、白血病など血液悪性腫瘍のほか脳腫瘍、神経芽腫などの固形腫瘍を含む。小児は発達成長途上にあり、この時期に受けた化学療法や放射線治療、手術などの治療が生殖機能や内分泌機能に及ぼす影響や二次がんなどの晩期合併症が無視できない。本コースでは小児がんの多種多様な治療法を学ぶとともに、晩期合併症の管理にも対応できる小児血液・がん専門医を養成する。

◆ 多様なニーズに対応する血液内科専門医養成コース

血液内科医として知識、技能、経験を修得し、様々な血液腫瘍に対応できる血液専門医を養成すると共に、臨床試験立案、プロトコル作成、倫理委員会申請、試験遂行、データ解析、論文作成を通して質の高い臨床研究ができる主任研究者を育成するコースです。

◆ 同種造血幹細胞移植指導医養成コース

同種造血幹細胞移植医としての知識、技能、経験を修得し、造血幹細胞移植の実践、マネジメント、チーム作りができる指導医を養成すると共に、臨床試験立案、プロトコル作成、倫理委員会申請、試験遂行、データ解析、論文作成を通して質の高い臨床研究ができる主任研究者を育成するコースです。

◆ 多様なニーズに対応するがん薬物療法専門医養成コース

臓器横断的ながん薬物療法の演習・実習に加え、他職種医療専門人とチームで患者の診療が出来るような、病棟・外来における演習を一層重視した教育を行う。また、高度な抗癌剤の臨床試験が出来るような演習も実施する。

◆ 放射線腫瘍専門医養成コース

進化する高精度治療に対応するとともに、今後変革期を迎えるがん診療に対応するため、臨床腫瘍学の基礎知識を持ち集学的治療の一翼を担うことのできる放射線腫瘍医の育成を目指す。また、他職種とともにチームの一員として全人的医療を提供できる医師を養成する。

◆ ゲノム医療に対応する革新的腫瘍外科専門医養成コース

大学院 4 年間で高い臨床手技力と研究能力を併せ持つ外科医を養成する。すなわち先端外科手術の修練や難治癌のゲノム解析や病態解明による分子標的治療開発を目指す研究を行い、学位取得並びに、高い外科手術と先端医療の基礎知識を有するがん専門医師を養成する。

「課題解決型高度医療人材養成プログラム」大学院コース

◆ 重症児の在宅支援を担う医師等養成コース

本事業は、鳥取大学を中心として秋田大学・山形大学と連携し、「重症児の在宅支援を担う医師等養成」を行うものである。

- 1) 人材育成：小児科医を対象に、重症児診療に必要な高度な医学的知識と診療技能を習得し、多職種・多機関と連携できる人材を養成する。また、重症児の院内マネジメントおよび地域の関係機関と連携できる人材（医師、ソーシャルワーカー、看護師等）の育成を行う。
- 2) 大学連携：連携大学と分担して大学院教育を行う。
- 3) 地域支援ネットワーク構築：重症児の在宅支援のために、地域医療機関・福祉事業所（訪問看護、リハビリ、ヘルパー）・行政・教育機関とネットワークを構築し、重症児の包括的な地域支援を実現する。
- 4) 全国普及：大阪府の重症児の地域連携モデルを構築し、全国の同規模の都市にノウハウを普及させることを目指す。